

〔問〕

スギ花粉発生源対策に関する次の記述のアからオに入る語句としてふさわしいものを下から選び、その語句を記入しなさい。

スギ花粉症については、その患者数が国民の約4割と推計されるなど社会的に大きな問題となっている。

そのため、スギ花粉の発生源であるスギ人工林を伐採し、花粉量を減少させる必要がある。この際、過度な伐採により森林の（ア）が損なわれることや木材の（イ）が発生することのないよう、（ウ）に適合した伐採が行われるように留意する必要がある。

また、伐採後には花粉の少ない品種の苗木や広葉樹苗木による（エ）を着実に実施し、森林の有する（ア）を持続的に発揮させるとともにスギ材の生産量拡大を踏まえた需要拡大を図ることが求められる。加えて、伐採や造林、苗木生産等の推進に必要な（オ）に向け、就業支援や就労環境の改善に取り組む必要がある。

木材等生産機能	景観保全機能	多面的機能	需要の減少
過剰な供給	価格の高騰	森林計画制度	
森林経営管理制度	拡大造林	再造林	天然更新
労働力の確保	高性能林業機械の導入		

〔問〕

それぞれの語句について簡潔に説明しなさい。

- (1) 地域森林計画
- (2) 森林経営管理制度
- (3) 定性間伐

〔問〕

福島県の民有林の森林面積の約4割に相当する人工林は昭和20年代から50年代に造成されたものが多く、現在、その半数が50年生を超え、本格的な利用期を迎えている。

この現状を踏まえ、今後の森林整備のあり方についての課題とその解決策について、あなたの考えを述べなさい。（800字以内）